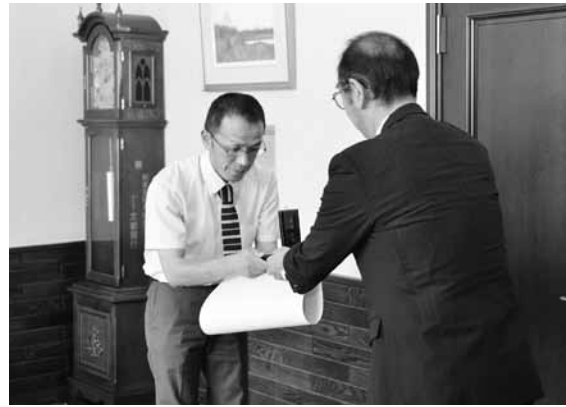


生前の功績が認められる

●故春日靄護氏に叙勲



▲長谷部勝北秋田地域振興局長から叙勲の伝達を受ける春日朋一さん

元森吉町議会議員で、今年4月に逝去された春日靄護氏（享年86歳・五味堀）がこのほど、叙勲の旭日単光章を受章し、7月11日、市役所で叙勲の伝達式が行われました。

春日氏は、昭和60年から平成9年まで3期12年にわたって森吉町議会議員を務められ、地方自治の発展に尽力されました。特に、産業建設常任委員長として、森吉山周辺観光拠点施設の整備促進に大きな功績を残しました。

伝達式には、孫の春日朋一さん（42歳・大仙市）が出席。朋一さんは、「祖父が社会に貢献してきたと認められ、こういった形として残り光栄に思っています。これから実家に帰って報告したい」と話していました。

陸上で全国大会へ出場

●綴子小の成田選手と佐藤選手



▲津谷市長から激励を受ける成田萌選手と佐藤悠祐選手

7月1日、八橋陸上競技場で行われた秋田県少年少女陸上競技大会で、優秀な成績を収めた綴子小学校（佐藤朗校長・児童数135人）6年の成田萌さんと佐藤悠祐さんが、佐藤校長と日沼統生監督と共に7月6日、市役所を訪れ、津谷市長に結果を報告しました。

成田さんは、6年女子1000mで優勝し、蔵王坊平全国ジュニア駅伝大会に県代表として出場します。

成田さんは「自分の走りをしっかりと、表彰台に上がりたい」、佐藤さんは「悔いが残らないよう全力で走りたい」とそれぞれ目標を述べました。

長谷川・佐藤チームが全国大会へ

●第41回消防救助技術秋田県大会



▲津谷市長に県大会の優勝を報告する佐藤副士長(右)と長谷川副士長(右から2人目)

第41回消防救助技術秋田県大会で優勝し、全国大会への出場が決定した北秋田市消防本部の長谷川裕也副士長と佐藤伸秋副士長が、6月28日、市役所を訪れ、津谷市長に大会の結果を報告しました。

同県大会は、6月26日と27日、秋田市と由利本荘市で行われ、長谷川・佐藤チームは、2人1組で塔の上から垂らされたロープで15mの壁を登る「ロープ応用登はん」の部で優勝。

長谷川副士長は「救助訓練を始めて7年。市民の安全・安心を守るために鍛えてきた訓練の成果がこのような形で表れ、嬉しく思っている」、佐藤副士長は「全国大会でも1位を目指し、頑張ります」などと述べました。

杉丸太の彫刻に腕競う

●第5回東北チェーンソーアート競技大会



▲オープンクラスには16人がエントリーし、6時間かけて作品を完成させました

第5回東北チェーンソーアート競技大会が7月14日、15日の2日間、県立北の丸太を使った作品づくりに腕を競いました。

大会には、東北を始め新潟県や長野県から、オープンクラスに16人、ビッグパーククラスに4人が出場。オープンクラスは末口40cm、高さ2mの杉を2日間にかたり6時間かけて、また、ビッグパーククラスは末口30cm、高さ1・2mの杉を3時間で作品に仕上げます。

選手たちは、用意した様々な大きさのチェーンソーを使い分け、自分の思い描く作品づくりに挑戦していました。制作した作品は審査の後、オークションによって来場者に販売されました。

緑化推進に尽力

●栄婦人会が知事表彰



▲津谷市長に受賞の喜びを語る栄婦人会の皆さん

秋田県都市緑化功労者知事表彰を受賞した栄婦人会（成田盛子会長、会員80人）の代表3人が7月6日、市役所を訪れ、津谷市長に受賞を報告しました。

訪れたのは、成田会長、斉藤ヒサ子副会長、成田和子会計の3人。

この賞は、6月2日に秋田県立中央公園で開催された、「第23回全国みどりの愛護のつどい」を記念し、緑化推進の模範として活動が認められた団体に贈られたものです。

栄婦人会では、北秋田市を訪れる方を歓迎し、国道利用者の目を楽しませようと、平成8年から会の有志20人で栄地区の国道105号線に面した植樹帯に花壇を設置し、管理、除草、清掃等を行っています。

地域と共に節目を祝う

●七日市保育園創立50周年記念式典



▲園児が元気な声で園歌を歌い、創立50周年を祝いました

社会福祉法人七日市保育園の創立50周年記念式典が、6月23日、同園で行われ、来賓、園児や保護者、地域の関係者らが参加し節目を祝いました。

七日市保育園は、昭和37年に創立され、昭和39年に法人施設として認可を受け発足し、卒園生は1068人にのぼります。

記念式典で近藤直夫理事長が「21世紀を担う大事な子ども達に生活習慣を身に付けさせ、心身共にたくましく意欲的に活動できる子に育ってもらうことを目標にし、役員一同、努力していきます」などと式辞。

その後、園児たちがステージに並び、全員で園歌を披露すると、来場者から大きな拍手が送られました。